



令和5年12月11日

外部講師との交流

コロナウイルスが5類に移行され、コロナ以前の生活が徐々に戻ってきています。これまでは身近なところで子ども同士の交流を行ってきましたが、1年ぶりに外部講師の方をお迎えして園児との交流を行うことができました。今回は「ちぎり絵」の体験と読み聞かせの会の方々による交流を紹介します。

古野・甲斐講師によるちぎり絵。
和紙をちぎって、来年の干支“辰”を作りました。



読み聞かせ“こすもすの会”のみなさん。
大型絵本やブラックシアターを見せてくれ、みんな真剣に見ていました。



小学生との交流

1年生は「秋のものをつかったお店屋さん」を開き、2年生は紙コップ、箱などを使って作った「おもちゃランド」を催し園児を招待してくれました。憧れの小学校「教室」に興味津々の園児は、キョロキョロ周りを見ながら机・学習道具を眺めていました。その後は小学生よりお店の紹介を聞き、思い思いのコーナーでたくさん遊ばせてもらいました。各コーナーでお土産をどっさりいただき、大きな袋を抱え「楽しかったあ！」と大満足で園に戻りました。



優しい2年生が遊び方を丁寧に教えてくれます。お土産は可愛い折り紙作品や遊べるおもちゃがありました。

*秋のもの「どんぐり、数珠玉、おなもみ、落ち葉」など懐かしいもの、珍しいものを工夫して「お店屋さん」を開店しています。*先生方も童心にかえって遊んでいますよ。

毎週水曜日は小学校図書館の利用日



毎週、司書の「ゆかり先生」との交流を楽しみにしている子どもたち。たくさんある蔵書の中からお気に入りの絵本を探すのは…迷ってしまいます。が、4月から図書館を利用している子どもたちは、お気に入りの本がどこにあるかすぐに見つけることができます。絵本を見つけた後は、図書室の約束を守り静かに絵本を見ています。借りた絵本は園に持ち帰り、翌週図書館に行くまで友だちと交換したりして読んでいます。

由布市学校給食センターの“給食” 美味しいよ！！

園児は由布市学校給食センターの給食をいただいています。幼・小・中学生が同じメニューを食べるので、小学校に入学しても給食に馴染みがあり「食べたことある！」とモリモリ食べることができます。因みにカレーやキムチ汁などの辛いものは、園児用に食べやすい味にしてくれているのが嬉しいです。



小学校の給食室に届いた給食をみんなで幼稚園まで運びます。



しゃもじ、トング、お玉などを使ってご飯・パン、サラダ、汁物などを自分たちで注ぎ分けしています。

入園して8ヶ月経つと随分力持ちになります。体を動かしてたくさん活動した後はお腹ペコペコです。もりもり給食を食べるようになったので食缶は空っぽになっています。

